

信州大学知の森基金を活用したグローバル人材育成のための短期学生海外派遣プログラム
実施状況および成果

プログラム名	ヒマラヤ横断フィールドワーク	
学部・研究科名	理学部	
実施期間	2015年3月5日～3月19日	
研修先(国・都市・施設名)	ネパール	
参加学生数	10名	知の森基金からの支援者
		10名
プログラム概要	ヒマラヤ山脈は世界最大の山脈であり、大陸形成の様子を保存する地球科学的に最研究重要な対象の一つである。このプログラムでは、ゴンドワナ地質環境研究所・ネパール・トリブバン大学地質教室共催「ヒマラヤ野外実習ツアー」に参加し、中央ネパールのヒマラヤ山脈を徒歩9日間かけて横断し、巨大山脈の形成の歴史とメカニズムを理解することを目的としている。	

実施状況・成果

ヒマラヤの山岳地帯からインドとの国境付近の平野部まで、日本では見ることのできない地層、岩石などを約2週間のツアーで観察することができた。何よりもヒマラヤ山脈の大迫力や美しい景色に魅了された学生は多かったと思われる。普段、地質学を学んでいる学生にとっても、地殻運動というものを肌で感じた時間であった。

今回は学部2年生と3年生が参加したが、それぞれ感じたものは違ったであろうと思われるが、得た物は大きかった。学部2年生は今後の学習の方向性を見出し、学部3年生は自分が学んで来たことを再確認するとともに、なお足りないものを見つけることができた。

海外でのツアーということで、語学力だけでなく、決してよくはない衛生環境や悪路といったことへの対応など、日本では体験することができないことを体験することができた。参加した学生はみなひとまわり大きくなり、今後のさらなる成長が楽しみである。

学生の声①-理学部 学生

初めての海外で、語学力や体調管理など難しいことは沢山ありましたが、充実した2週間でした。一番印象に残っているのは、ヒマラヤ山脈にかかる朝日の美しさです。決していい環境とは言えませんが、早起きをし、美しい景色に魅了され、海外の学生と交流をし・・・本当に貴重な時間を過ごすことができました。一生懸命勉強して、今回足りなかったものを勉強して、またこういう機会にチャレンジしたいです。

学生の声②-理工学系研究科 学生

日本では見られないような地層や岩石に触れることができる日々と、贅沢な時間を過ごしました。その一方で、文化面や衛生面では日本の良さを再認識することができる機会となりました。後輩にもぜひこのような機会にチャレンジしてほしいですし、このような機会を与えてくれた知の森基金に感謝して、今後も成長していきたいです。

中央ネパール、ジョムソン郡ムクチナート近郊の雪原にて写真を撮る学生たち



中央ネパール、ジョムソン郡ジョムソン北方にてネパール人教員からの説明を受ける学生

